

みそあじにゅーす



2014年1月 12号

平成26年1月17日(金) 落合中学生徒指導部

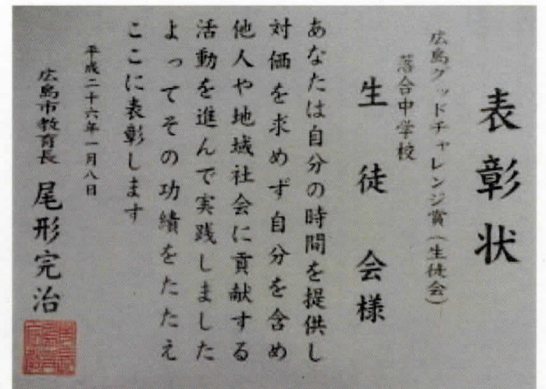
今年も受賞!

グッドチャレンジ賞!

明けましておめでとうございます。新しい年のスタート。今年もみんなで落合中学校の「みそあじ」の伝統をしっかりと築いていきましょう。

ボランティア活動によく取り組んだ個人、グループ、生徒会を表彰する「グッドチャレンジ賞」の表彰式が8日に広島市役所2F講堂にて行われました。これは規範性や社会貢献の心を育む活動等へ積極的な参加を促すために、よいことを自ら進んで実践した中学生の生徒個人、グループ、生徒会を表彰するものです。

本校はグループ表彰で吹奏楽部、個人表彰で生徒会ボランティア局の有馬聡志君、森本沙彩さん、そして、生徒会が表彰され、尾形教育長より表彰状をいただきました。



吹奏楽部は、今年度、地域行事(高陽けやきまつり)での演奏活動や、落合フレンドリーコンサートに参加し、行事を盛り上げることに一役買いました。

森本さん、有馬君は生徒会執行部のボランティア局として「ちょこボラ」の企画や様々なボランティアを中心となって推進しました。

生徒会は広島市がこの賞を企画して以来、連続受賞を続けています。今では、ボランティアは落合中学校の自慢の一つとなっています。

また、今年度の表彰式では、全受賞者を代表して森本さんがあいさつをしました。

広島グッドチャレンジ賞 個人の部 代表の言葉

私がボランティア活動に初めて参加したのは、小学生の頃でした。母に連れられ地域のゴミ拾いに参加しました。それがきっかけで地域で清掃活動があるときは必ず参加しています。中学生になってもそれは変わっていません。

中学二年になり、生徒会のボランティア局員として、ボランティアをコーディネートする役職に就きました。三年生にもなると執行部としての活動や、受験勉強で毎日が忙しくなりましたが、変わらずボランティア活動は続けています。

私は、ボランティアが好きです。活動中がとても楽しいです。そして何より、自分の町や学校が綺麗になっていくことがうれしいです。しかも、地域の方や先生方から「いつもありがとう」「お疲れ様」と声をかけていただきます。それは私にとって一番のご褒美です。しかし、だれからも見ていただけないときもあります。それでも活動を通して得た達成感は、私にとってかけがえのないものになっています。人のためにちょっとした何かができることが、少しだけ自分の自信になっています。

この度は、このような場を設けてくださり

本当にありがとうございます。これからも私は、勉強とともにボランティア活動も頑張り、その仲間を増やしていきたいと思っております。



学びから逃げない!